

国立高等専門学校機構の

次期(第4期)中期目標期間における業務の方向性について



KOSEN

国立高等専門学校機構

平成30年12月7日
国立高等専門学校機構

国立高等専門学校機構を取り巻く環境・課題

外部要因

社会・経済構造の変化、技術の高度化、社会・産業・地域ニーズの変化

⇒専門性の高い技術者の育成や人材が不足している分野の人材の育成が必要

諸外国から日本型高等専門学校教育制度(KOSEN)の強い関心

⇒教員や学生の派遣・交流等を通じた高等専門学校の教育システムの海外展開が必要

内部要因

・高専教育の質保証の社会的要請

・運営費交付金の依存度の高さ

・客観的な情報等(学務情報・産学連携情報等)の分析を通じた企画立案・事業運営の必要性

・高専教育に対する社会の理解を高める取組の重要性

国立高等専門学校機構の業務・組織の方向性

【時代が求める実践的技術者を養成する国立高等専門学校機構の使命】

国際社会を取り巻く環境や社会の産業構造が大きく変化する中、社会ニーズに応じて「高専の高度化」を進め、ガバナンス改革を強化し未来社会を先導する。

【課題を踏まえた業務・組織の基本的方向性】

高専教育の高度化に向けた法人としての統一の方針の決定と学校運営の自律性の確保

スケールメリットを生かした戦略的かつ計画的な資源配分

産業界・地方公共団体との連携強化

【中期目標・計画の方向性】

・モデルコアカリキュラムのPDCAサイクルの定着

・新産業牽引人材育成

・地域密着型産学連携
・社会実装教育の機能強化

・高専の海外展開
・15歳からの情報教育

教育の質保証

特色形成・産学連携

国際化・情報化

高専の高度化・国際化